

Quick Thermo

<装置諸元>

モデル名	ZX-TN2M7A
ハードウェア	
OS	Linux オペレーティングシステム
RAM	16GB
画像センサー	1/2.7"CMOS イメージセンサー
カメラパラメータ	
画素数	2Mega Pixel、1920×1080
明るさ	Color0.01Lus@F1.2(ICR); B/W0.001Lus@F1.2
顔認識	
距離	0.5~2m
画角	対調角±40度
判定時間	500ms 未満
機能	22,400 人分の顔照合と 100,000 件のデータを記録
温度測定	
温度センサー	サーマルセンサー (独) Heimann 社製を採用
計測範囲	30~45℃
測定精度	±0.3℃
検知距離	0.5~0.9m
応答時間	300ms 未満
インターフェース	
LAN	RJ45 10M/100M Ethernet
アラーム OUT	無電圧接点出力
USB ポート	メンテナンス用 (未使用)
一般	
電源	DC12V/3A AC アダプター使用
消費電力	2.0 W(MAX)
動作環境温度	0℃~+50℃
動作環境湿度	5~90% 水蒸気中は不可
大きさ(mm)	組立済サイズ 390(H)×280(W)×255(L)
質量 (kg)	1.9(本体) 1.1(架台) 総重量 3.0
商品構成	カメラ・温度センサー付 7"モニター本体(ZX-TM2M7A)×1 台
	スタンドベース × 1 台
	AC アダプター・組立用スパナ・六角レンチ × 1 式
	取扱説明書 (保証書を含む) × 1 式
	モニタリングソフト sVMS2000 ※ダウンロードにより提供



<端末本体外寸>

<使用上の注意>

- 本装置は屋内仕様です。屋外では使用できません。
- 入室して直ぐは、外気温の影響などにより、測定結果に影響を受ける場合があります。入場から2~3分程度時間をおいて、計測することをお勧めします。
- 計測温度は体温計で計る人体の深部温度ではなく顔面の表面温度です。(測定値誤差は、±0.3°)
- 体温異常が判定された場合は、正式に体温計での測定をお勧めします。
- 3m以内に加熱機器等の空調機があると、測定精度に影響する場合があります。
- 水・汗・オイル・厚化粧・深いシワ等は、実際の体温より低く計測される場合があります。
- 取扱説明書をよくお読みになり、適正にご使用ください。



新しい生活様式のお役に立ちます。

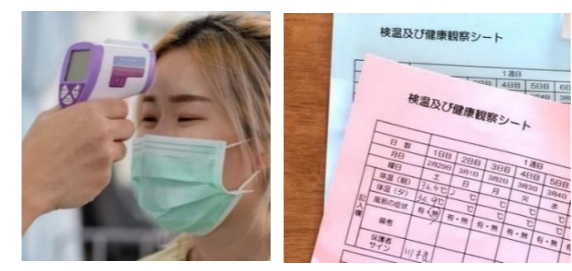


Quick Thermo 紹介動画
YouTube

顔認証機能付き AI 体温検知システム (ZX-TN2M7A)

Quick Thermo (クイックサーモ) は、新たな生活様式に対応する為のカメラシステムです。人の顔を自動認識 (登録者の顔認証機能)、同時にサーマルモジュールで顔の温度を測定、即座に音声注意喚起までを行う "顔認証機能付き AI 体温検知システム" です。各情報は端末に蓄積され、そのデータを エクスポートして管理運用に利用したり、標準付属の出力ポートと接続により二次制御も可能です。顔認証と検温・マスク着用の注意喚起を同時に自動で行います。

新しい生活様式
検温・健康管理
Social Distance
「マスクの着用をお願いします」



- 顔認証機能
- 画像記録
- 入退場記録
- 検温・判定
- マスク着用確認
- 外部連携



顔認証機能付き AI 体温検知システム

Quick Thermo

入場ゲート・受付カウンター・学校・病院・各種施設・店舗など様々なところで、検温・マスク着用確認・接触履歴の管理等が必要になり、直接接点のリスクの中、そのための人員配置も必要になっています。クイックサーモは、顔認証機能・体温測定・マスク着用確認を瞬時にを行い、音声でお知らせ、画像と入退出記録・検温結果を蓄積し、管理運用が可能です。



顔認証 & AI 機能は、スマートフォンのロック解除など、その認証アルゴリズムの高い判定精度は、私達の社会生活の中で様々な用途に既に利用されています。本装置はこれら最先端の認証技術を採用しています。

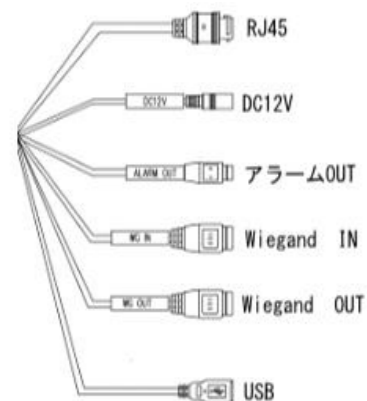
<装置概要>

非接触サーマルモジュール（Heimann社製）を搭載。計測範囲 30~45℃（精度±0.3℃）
 2 Mega pixel 高感度モーションカメラ内蔵
 顔認証により、各人の入退出日時・測定温度・画像を自動記録
 7インチ画面に測定温度と顔画像を表示、マスク有無など、AIが認識して音声で注意喚起
 顔面認識用データベースは、カメラ画像から専用ソフトを介して最大22,400人分登録可能
 マスク着用でも正確に認識する顔認識アルゴリズムにより、500ms未満の高速認証速度
 体温異常の場合は画面に表示。LAN経由にて接続PCにリアルタイム表示
 端末が複数の場合は、PC側でマルチ表示可能
 データはパソコンの専用ソフトからエクセルにエクスポート可能
 出力ポートは、入場ゲート開閉自動化や別動線への誘導・パトライト点灯等二次制御可能、
 出退勤管理にも応用でき、社員ID等のICカードの読み取りも可能

<顔認証AIカメラと非接触サーモモジュールを搭載>

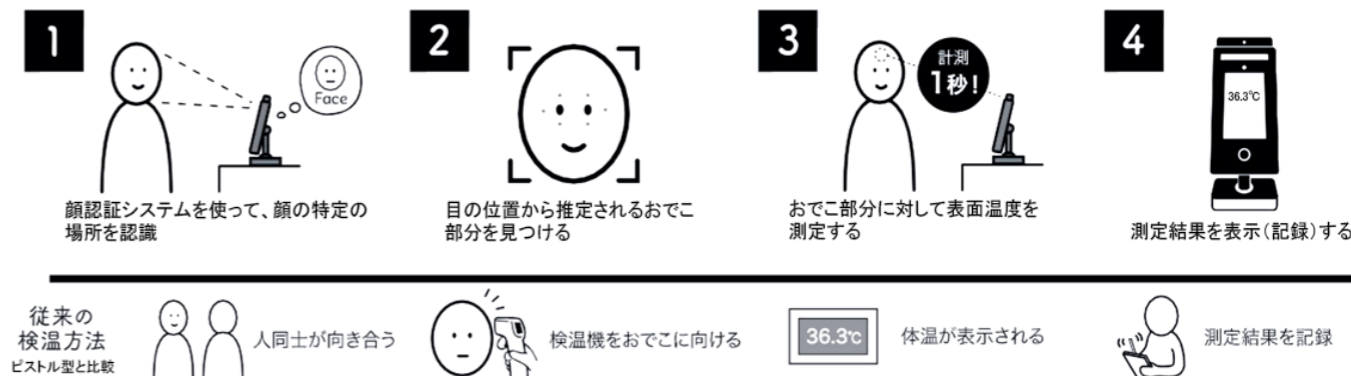
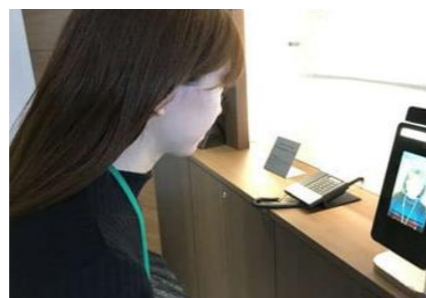
電源投入すると、端末の基本機能は直ちに稼働します。
 日時・測定温度・顔画像を表示し、音声で知らせると同時に端末内のメモリに記録します。

体温が正常（設定温度より低ければ）、グリーンで正常を知らせます。
 体温が異常（設定温度より高ければ）、オレンジで異常を知らせます。
 また、AIがマスク着用を認識し、未着用者には注意喚起を発します。
 未登録者は、登録者と（登録にはPCとの接続が必要です）同様に、各データ測定し音声で知らせると同時に、「未登録」として端末内に記録します。（端末データの管理にはPC接続が必要です）

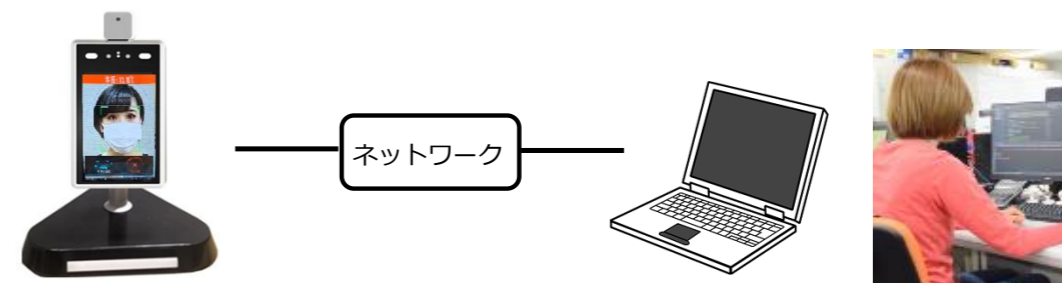


<連携用出力ポート>

左図の出入力ポートを標準装備しており、LANポート（標準卓上スタンドに標準装備）を介してPCと連携します。（LANケーブルは付属していません）
 出力ポートは、ゲート開閉・パトライト等の周知機能・ICカードの読み込み等二次制御構築に便利な連携ポートです。
 ICカード併用により出退勤管理等も連携が可能です。
 （二次制御は商品価格には含まれません）

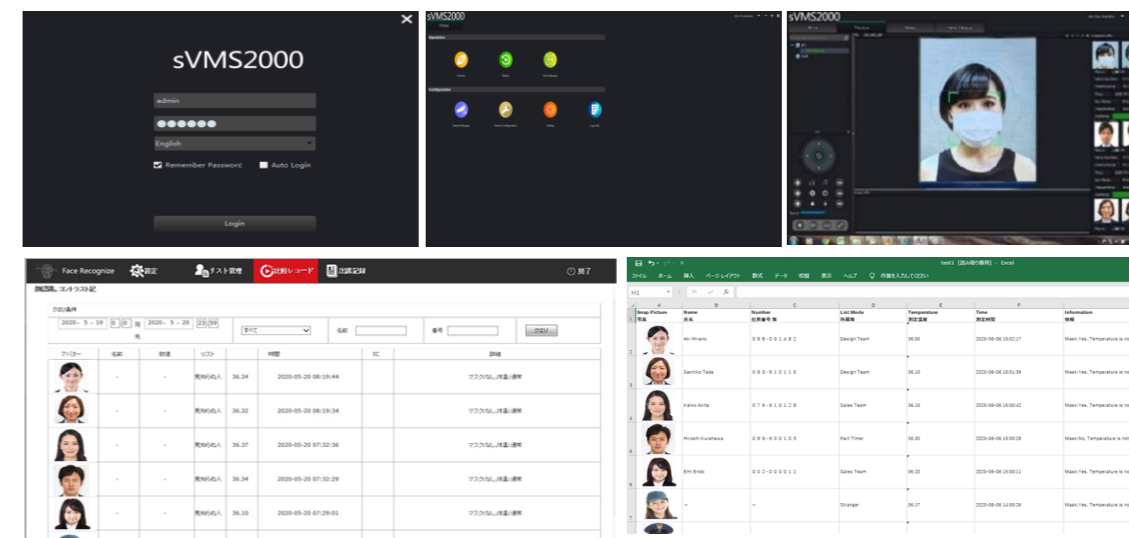


※本製品は体の表面温度を測る機器なので、実際の体温を測るものではありません。（他社の類似商品も体温ではなく身体の表面温度を測るものとなっております）



<PCとの連携>

PCと接続する事で、各種設定（設定体温・顔認証機能の有効/無効・マスク無しの告知・各種告知の有効/無効など）の登録、別室でのモニタリング（端末複数台の場合はマルチモニタ機能で1台のPCで全ての端末を一括モニタリング可能）・顔認証対象者の編集・管理・データのエクスポート等、更に有効活用できます。受付での入館記録や検温等の作業を自動化し、ご担当者のリスクも大きく軽減できます。



<PCでの管理とデータのエクスポート>

PCのブラウザで端末とリンクし、条件登録や顔認証登録、有効/無効の設定を行います。また、端末内から、日・週・月など指定期間の顔写真・日時・検温記録などの各種データをエクセルにエクスポート出来ます。